



第23回上田八木・金融政策サーベイ(2018年10月)の結果について

～回答者の99%が今回のMPMでの政策変更なしとの見方。金利見通しは、「無担保コールON金利」および「2年利付国債」は概ね前回並み、「10年利付国債」では「上昇」と予想する先が若干増加。

2018年10月29日(月)
上田八木短資株式会社

【調査の総括】

- 回答者(173先)の99%が今回のMPMでの政策変更なしとの見方。前回と同じ内容。
- 「無担保コールON金利」および「2年利付国債」の予想についても、ほぼ前回と同じ見通し。
- 「10年利付国債金利」の予想については、「不変」との見方が減少。(前回65%→今回57%)

【調査の概要】

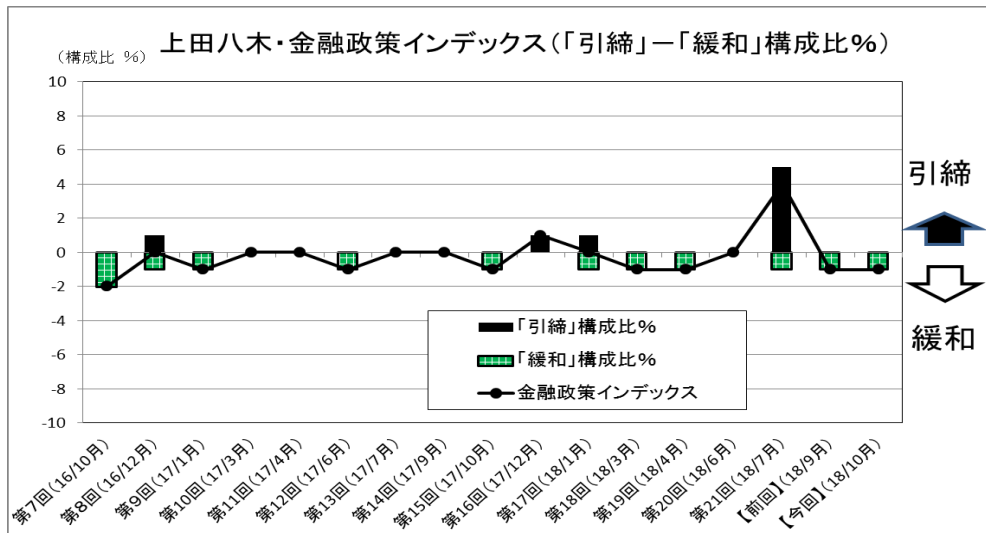
調査対象	弊社と取引のある銀行、証券会社、保険会社、事業法人などの市場取引関係者(192先)
調査内容	日本銀行の金融政策決定会合における結果予想と、3か月先の金利見通し
調査方法	2018年10月24日～26日の3営業日間、電話等によるヒアリングにより実施
回答率	90.1% (回答者数173先<Q1における回答者数>)

【調査結果】

(Q1) 日本銀行の次回の金融政策決定会合(10月30日～10月31日)における決定について

回答者の99%が「不変」の見方。前回と同じ内容。

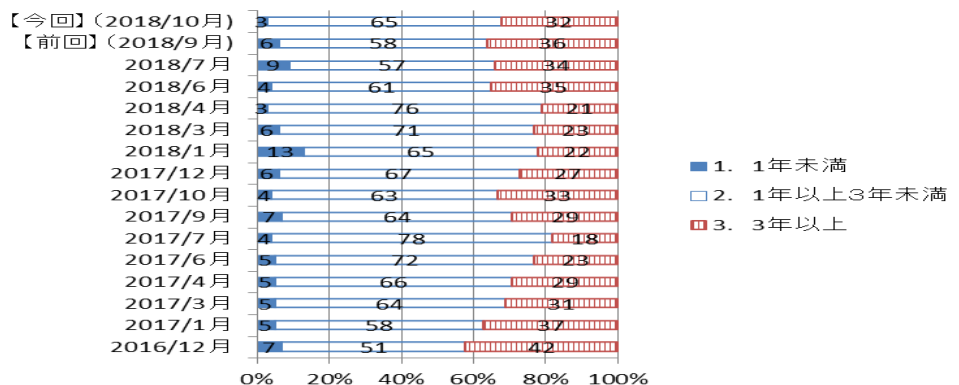
上田八木・金融政策インデックス(「引締」-「緩和」構成比%)は、「▲1」と前回と同じだった。



(ご参考)

【今回16回目となる追加質問:Q5】現状の金融緩和(オーバーシュートコミットメント含む)からの出口開始時期は?

1年未満と回答する先が3%に減少(前回6%)、1年以上3年未満と回答する先は65%に(前回58%)に増加。



(Q2) 3か月先の無担保コールON金利は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

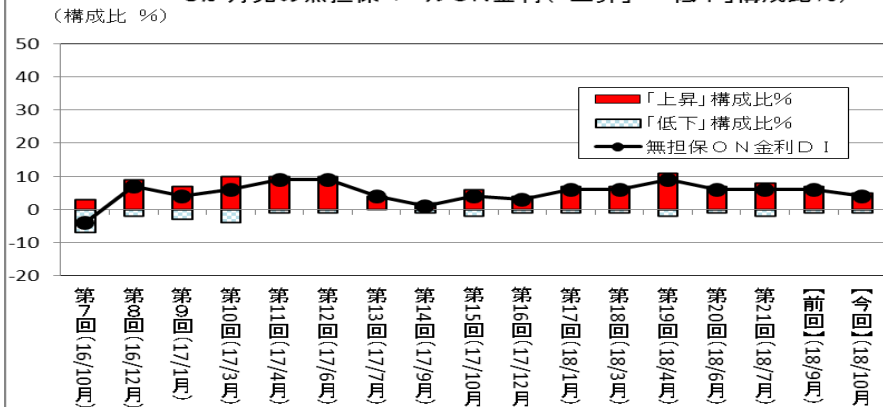
回答者全体の94%が「不変」と予想。1%が「低下」を予想、「上昇」とみている先は5%であった。

「上昇」とみる先は前回から2%ポイント減少の+5%（前回7%→今回5%）。

「低下」とみる先は前回と同じ+1%。

「不変」とみる先は+2%ポイント（前回92%→今回94%）。

3か月先の無担保コールON金利(「上昇」-「低下」構成比%)



上昇
↓
低下

(Q3) 3か月先の「2年利付国債金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

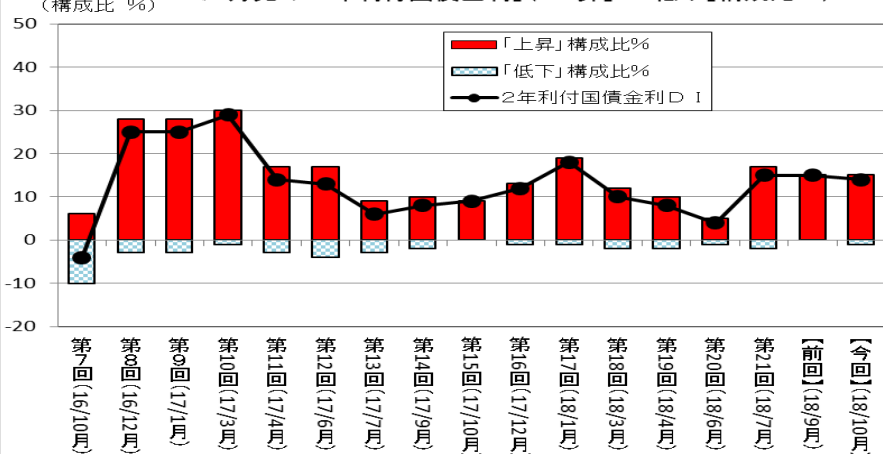
回答者全体の84%が「不変」を予想。「低下」を予想する回答者1%。「上昇」を予想した先は15%であった。

前回との比較では、「上昇」とみる先は+15%で前回と同じ。

「低下」とみる先は+1%ポイント（前回0%→今回1%）。

「不変」とみる先は▲1%ポイント（前回85%→今回84%）。

3か月先の「2年利付国債金利」(「上昇」-「低下」構成比%)



上昇
↓
低下

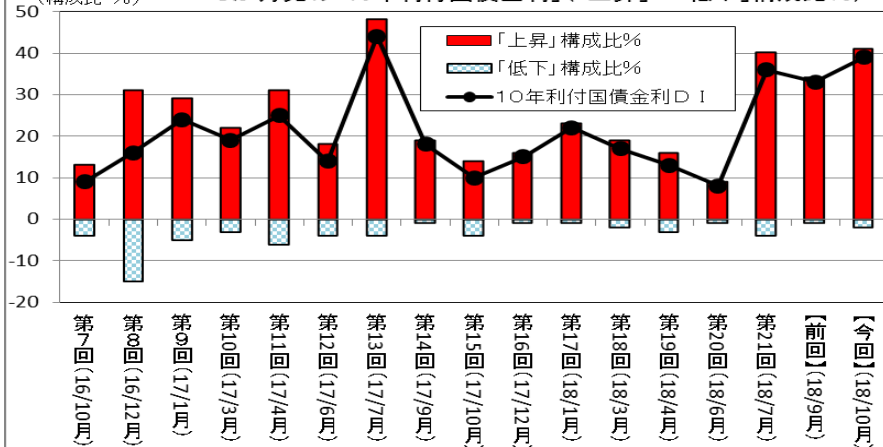
(Q4) 3か月先の「10年利付国債金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

回答者全体の57%が「不変」を予想。2%が「低下」、「上昇」を予想した先は41%だった。

前回との比較では、「上昇」とみる先は+7%ポイント（前回34%→今回41%）。「低下」とみる先は+1%ポイント（前回1%→今回2%）。

「不変」とみる先は▲8%ポイント（前回65%→今回57%）。

3か月先の「10年利付国債金利」(「上昇」-「低下」構成比%)



上昇
↓
低下

【本調査に関する照会先】
企画部 島本、保元（電話 03-3272-0293）